

## 令和6年2月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年2月分について、輸出額は「自動車の部分品」、「石油製品」などが減少したものの、「自動車」、「有機化合物」などが増加したことから、対前年同月比27.1%の増加となった。また、輸入額は「石油製品」などが増加したものの、「液化天然ガス」、「石炭」などが減少したことから、同3.2%の減少となった。  
その結果、差引額は967億円（同21.3%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	931億円	+27.1%	1,898億円	▲3.2%	▲967億円	▲21.3%
	7カ月連続の増加		2カ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	165億円	+296.2%	輸入	増加品目	(1) 石油製品	124億円	+199.4%
		(2) 有機化合物	66億円	+18.3%			(2) 原油及び粗油	1,020億円	+7.9%
		(3) 生ゴム	25億円	+66.2%			(3) 非鉄金属鉱	42億円	+161.5%
	減少品目	(1) 自動車の部分品	76億円	▲9.3%		減少品目	(1) 液化天然ガス	254億円	▲53.4%
		(2) 石油製品	70億円	▲9.6%			(2) 石炭	63億円	▲44.8%
		(3) 原動機	15億円	▲26.1%			(3) その他の採油用種子	7億円	▲59.1%
地域別動向	西欧、アジアが増加、大洋州は減少				地域別動向	アジア、北米が減少、中東は増加			

（参考）ドルレートは、148.18円（前年同月比13.7%、17.8円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。